

美術・工芸科 夏の猛特訓!

●《美術・デザイン系進学相談会》1期生の進路意識向上へ!

7月28日(火)博多スターレーン(福岡県)のダイヤモンドホールを会場に、美術・デザイン系進学相談会が行われました。貸切バスを利用し本校から生徒計35名が参加しました。会場では、美術系の大学や専門学校がブースごとに分かれ、生徒たちが興味のあるブースを自由に選んで参加する形式になっていました。武蔵野美術大学や多摩美術大学など、関東の有名美術大学も参加していることもあり、会場にはたくさんの高校生が集まっています。入試における実技合格作品の展示や大学・専門学校パンフレットや入学試験ガイドの配付もあり、会場では入試を控えた3年生が、担当の方の説明を熱心に聞き入っていました。本校に**美術・工芸科が新設されてから1年4ヶ月**。

1期生である2年生は、受験まであと1年半ほどとなりますが、このような機会を通じて進学に対する意識を高め、**自分の進路について考えるきっかけ**になればと思います。

●《デッサン大会》経験を通し、自分の表現を見つける!

毎年夏休みに行われる高文連美術専門部が主催するデッサン大会が、8月1日(土)から3日間、諫早高校・中学校をメイン会場に開催されました。

今年は中学生も参加し、**過去最高の総勢350名余り**の生徒が、静物、人物、石膏、屋外スケッチ、映像の5部門に分かれて制作を行いました。本校からは美術・工芸科を中心とする美術部・デザイン部・陶芸部の生徒が参加しました。屋外スケッチの生徒は、猛暑の中、真っ黒に日焼けしながら鉛筆を走らせました。指導者が他校の美術の先生だったので、普段より緊張感を持って画面に向かうことができました。特に他校の同世代の美術部生徒たちの制作に対する取り組む姿勢に大きな刺激を受けました。最終日は、完成した全作品を体育館に並べ、鑑賞会を行い、同じモチーフでも様々な表現があることを実感し、生徒たちは**違った物の見方や感じ方を学ぶ**ことができました。このような経験を重ねることで、自分の表現を早く見つけることを願っています。

●《芸術家を招いての講演とワークショップ》本物は違う!

8月4日(火)波佐見町の833スタジオにおいて、東京で陶芸家として活躍されている**大藪龍二郎さん(元東京藝術大学講師)**をお招きし、美術・工芸科1・2年生(35名)を対象に、講話とワークショップを行いました。

午前中の「縄文から今日まで～日本の焼き物を考えてみよう～」と題した講話では、縄文をテーマに作品制作を行っている大藪先生が、ものづくりを目指すきっかけや大学時代の制作の様子、海外での活動などを紹介いただきました。大変興味深い内容で、終了後、多くの生徒から面白い内容だったという感想を聞くことができました。ものづくりにかける先生の思いが強く伝わったようです。午後からのワークショップでは「縄文土器をつくってみよう!」をテーマに、縄文土器を制作するための道具作りから、実際の土器を完成させるまでの一連の制作を行いました。生徒たちは、縄文土器ならではの縄を使った道具作りに苦心しながらも、普段の授業では経験できない貴重な体験をすることができました。テラコッタという粘土を使用しましたが、普段とは違う粘土の質感に戸惑いながらも一心に制作に励む生徒たちの姿が印象的でした。(美術・工芸科主任:岩永聡志)



〈校訓〉 自律・積極・究理

波高通信



〈スローガン〉「**チーム波佐見**」～常に前進 常に一步～

第17号 平成27年8月31日発行

校長室より

『もう一つ上を目指そう!』

「夢高くして足地にあり The sky is the limit.」

この夏休みの8月19日から21日まで、岩手県の盛岡市で開催された全国PTA大会に参加してきました。冒頭の言葉は、村上雅人芝浦工業大学長の講演の演題です。

空はどこまでも高く、限界がありません。「The sky is the limit.」の意味は、**可能性は無限大**であるということです。この言葉にとっても感銘を受けました。

2学期のスタートにあたり皆さんにお願いしたことは、「**自分のできるもう一つ上を目指そう**」ということです。**勉強、部活動、学校行事**の3つについて、もう一つ上を目指して欲しいということです。

勉強については、学力向上のために、家庭学習時間を増やしましょう。また、授業に集中しましょう。もう一度「**学校は勉強するところである**」ということを再確認するとともに、勉強に対して逃げることなく、覚悟を決めてほしいと思います。

部活動については、目標達成のために、日常の活動を振り返り、どう工夫すればもう一つ上の練習になるのか、考えてください。

学校行事についても同様です。2学期は体育祭と文化発表会という大きな行事があります。そういう場で、仲間と協力し支えあうこと、思い切り楽しむこと、周りの人に感謝すること、そして全力でやり抜くことを強く意識していけば、一つ上の何かがつかめると思います。特に今年度は、新しい取り組みとして、**体育祭での3年生男子のソーラン節、文化発表会での合唱コンクール**があります。

皆さん一人一人は素晴らしい能力そして無限の可能性を持っています。日常の学校生活の中で、常に「**もう一つ上**」を意識しながら**勉強、部活動、学校行事に取り組んでいきましょう**。そうすることで皆さん自身のよさが表に出て、皆さんの人間的な成長はもちろん、学校が大いに盛り上がり、「**チーム波佐見**」が一段と活気で満ち溢れると思います。**The sky is the limit.** 成長のきっかけがたくさんある2学期を一丸となって頑張っていっていきましょう。(野田定延)

全国高等学校PTA連合会 岩手大会

第65回全国高等学校PTA連合会岩手大会が、8月20日・21日に「未来圏からの風をつかめ!～新時代を担う君たちと共に～」をテーマに、岩手県産業文化センターにおいて開催されました。本校からは、野田校長先生の他、3名の役員で参加しました。特に興味深かったのは、奈良県立平城高等学校の「**平城あいさつ運動**」でした。近年、家庭や地域の教育力の低下が指摘される中、規範意識や社会性の向上の必要性から、「**地域と共にある学校づくり**」を目指し、あいさつ運動の実施で、**学校が変われば地域が変わる、地域が変われば子どもが変わる、子どもが変われば未来が拓かれる。**ということでした。これは**本校PTAの目標と同じ**でした。保護者が学校や先生方の教育活動に協力・支援し、一体となって子ども達を育てていきたいと、更に強く思いました。遠路の移動で大変でしたが、楽しく充実した研修でした。このような機会をいただき、本当にありがとうございました。



(母の会顧問 山川千春)

平和学習会

戦後70年を経過して！

8月9日(日)今年も長崎に原爆が投下されたこの日がやってきました。生徒たちも以下のような主に三つの取り組みを通して、平和に対する思いをあらためて深める一日となりました。(1)波高鶴の作成・・・教室で生徒全員が折り紙に平和への思いを一言ずつ記し、一人2羽ずつ折り鶴を作成しました。作成後は、生徒会が取りまとめた後、全高生徒へ披露します。(2)DVDの鑑賞・・・体育館で「赤い背中～原爆を背負い続けた60年～」という映像を鑑賞しました。内容は、長崎市内で被爆された谷口稜輝さんの戦後をとらえたドキュメント作品です。(3)波高生による平和宣言・・・生徒の代表者が宣言文を読み上げ、一人一人が恒久平和の実現をめざしていくことを誓い合いました。(1学年主任 川内英樹)



野球全校応援(7/23 ベスト8)

長崎ビッグNスタジアムで行われた全国高等学校野球選手権長崎大会準々決勝に全校応援しました。対創成館高校で昨年と同様ベスト4をかけての戦いでした。保護者、卒業生、地域の方々も酷暑の中応援に来て下さり、感謝しています。残念ながら2対5で敗退しベスト8でした。選手の懸命な頑張りを全校生徒で応援したことは**学校が一体となり良い経験でした。**今後の野球部の活躍を期待しています。



(生徒会主任 重松聰美)

体育祭前清掃活動に感謝！

8月30日(日)午前8時30分から、保護者、先生方、各部活動の生徒たちの協力で、体育祭前の校舎周辺等の清掃活動を実施することができました。心配された雨も降らず、早朝から草刈り機で作業をしていただいたり、全員でグラウンド周辺の草や枯れ葉等、たくさんのゴミを集めていただきました。保護者の皆様にはお忙しい中、本当にありがとうございました。生徒たちの体育祭を楽しみにしててください。(教頭 小柳勝彦)



(教頭 小柳勝彦)

『心の鐘を鳴らそう♪』～吹奏楽コンクールを終えて～

7月30日(木)長崎ブリックホールにて第60回長崎県吹奏楽コンクールに出場しました。12分間の演奏を成功させるため、合宿を行ったり放課後遅くまで残って練習したりと、多くの時間を費やし練習に取り組みました。「練習は本番のように、本番は練習のように」「心の鐘を鳴らそう！」を合言葉にステージへ向かい、3年生を中心に気合を入れながらもリラックスした雰囲気の中で演奏を開始することができました。結果は昨年度より一つ上の「銀賞」を頂くことができました。残念ながら「金賞」には手が届きませんでしたが、練習の成果を十分に発揮できた部員たちは「満足感、達成感」を味わった良い表情をしていました。コンクールに向けて努力を重ね諦めずに頑張ってきたことは、高校時代の「よき思い出」としていつまでも心に刻まれることと思います。(吹奏楽部顧問 大小瀬泉子)

吹奏楽コンクールへ向けて合宿やホール練習など、一生懸命取り組み努力を重ねた結果、銀賞を受賞することができました。目標にしていた「金賞」は逃しましたが、昨年の「銅賞」を越えることができ、本当に良かったと思っています。練習では、つらいこと、苦しいことがたくさんありましたが、部員全員がまとまり、一つのことに向かって一生懸命に努力したことは、私たちが大きく成長させてくれたと思っています。私たちを支えてくださった先生方、保護者の皆さん、そして部員全員に感謝しています。本当にありがとうございました。

これからも、波高吹奏楽の更なる発展を期待して、応援していきたいと思っています。(部長 松尾 朝香)



松葉保育園での訪問演奏！

8月24日(月)松葉保育園での訪問演奏を行いました。当日は台風前で天候が心配されましたが、松葉保育園の園児、東幼稚園の園児、職員の方々など総勢150名の前で演奏を披露しました。コンクールが終了し1、2年生の新体制で初めての演奏会でした。音楽を通して会場全体が笑顔に包まれたことで、試行錯誤しながらプログラムを考え、一生懸命練習や準備をしてきたことが報われた一日でした。子供達の生き生きとした「笑顔」をパワーにして、更に充実させていきたいと思っています。(吹奏楽部顧問 大小瀬泉子)



第2回 オープンスクール

8月20日(木)波佐見高校第2回オープンスクールを開催しました。暑い中、生徒・保護者併せて約170名の参加でした。朝から雨模様で計画通りできるか心配でしたが、開会時刻の9時には雨も上がり晴れ間も見えてきました。吹奏楽部の歓迎演奏では、手拍子も交えて熱心に耳を傾けていただきました。曲の合間には波佐見中、三川内中、川棚中それぞれの出身の部員からのメッセージもあり、盛況の中演奏を終えました。日程説明後、野球部員の案内で**体験授業**へと移動しました。全部で10講座でしたが、普段とは違う高校の先生方による授業で、中学生は目を輝かせて取り組んでいました。先生方も中学生を前にしてとても緊張したということでした。昼食後はいよいよ**体験入部**です。野球、サッカー、バスケットボール男子、バレーボール男子、吹奏楽、美術の6つの部活動に約60名が参加しました。普段とは違い高校生と一緒にプレーができ、とても充実したいい汗を流していました。以上のように今回は、波佐見高校の先生方や生徒とともに体験をすることを中心としたオープンスクールになりました。進路選択を間近に控えた中学生にとっても参考になったのではないかと思います。次回は10月17日(土)に入試関係を中心とした会を計画しております。(教務主任 安達 健)



HTB実践的インターンシップ

平成27年7月18日(土)～8月2日(日)

日本3位のテーマパークでキャストの体験！

平成22年度から、夏・冬などの長期休業中に2週間の日程でインターンシップをしています。今夏で13回目です。2日間の研修を受けた後、キャストとして現場に出る本格的なものです。今回は22名、これまでに234名が体験しています。業務内容は、アトラクションの案内や運営、ショップでの販売、ウェルカムゲートでぬいぐるみに入ったり、アミューズメントの場内アナウンスをすることもあります。以前に比べて外国人が増加し、英語で話しかけられることもあり、改めて英語の大切さを実感しているようです。夏にはプールがあり、今年は特に日本一の長さを誇るウォーターライダーが目玉だったので、配属された生徒は、あまりの人の多さに大変だったと言っていました。この研修を通して、**社会人としての自覚や役割等、多くの事を学んでいます。**次回は冬休みを予定しています。波佐見高校にいるからには是非1度体験してみたいと思います。(進路指導主任 宮崎 恵)

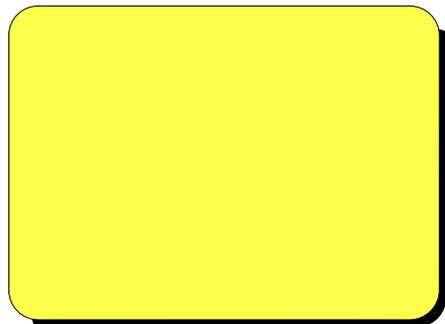


9月の行事予定

9月6日(日)体育祭です！

9月3日(木)7(月) 体育祭代休
9月11日(金) 職業講話
9月14日(月) 就職受験者激励会
9月16日(水) 就職試験開始日
9月18日(金) 中間考査時間割発表
9月28日(月) 進学受験者激励会
9月29日(火)～10月2日(金) 第2学期中間考査





野球部推戴式を開催 ”心”一つに甲子園

現在ベスト8 7/23(木) 全校応援